

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	土地区画整理事業関連整備事業				担当部	都市建設部									
	会計区分	一般会計		事業類型	施設整備系		担当課	区画整理課								
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	庶務係								
	総合計画 新基本計画	施策等	6 都市基盤		21 市街地整備		2 良好な住宅地を創出します									
			重点事業		実施計画事業	○										
	予算区分	款	8		項	4		目	6		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	土地区画整理法、尾張都市計画事業(小牧小松寺・小牧文津・小牧岩崎山前・小牧南)土地区画整理事業計画														
	目的	何・誰を対象に	土地区画整理事業地区の周辺部の道路や排水路等の公共施設													
		どの様な状態にするのか	各地区の土地区画整理事業の進捗状況に合わせて、周辺部において関連工事を一体的に実施し、円滑な道路交通や排水を確保する。													
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆27年度実施内容 各地区の土地区画整理事業の進捗に合わせて、必要な関連整備事業を行う。 平成27年度の土地区画整理事業関連整備事業は、下記のとおりである。</p> <p>・小牧南地区の区画道6-104号関連工事に係る監理監督業務。</p> <p>◆平成27年度直接経費の内訳 ・工事請負費14,300千円 ・委託料等1,998千円</p> <p>◆平成28年度直接経費の内訳 ・工事請負費10,000千円 ・委託料等14,000千円</p>														
受益者負担	無															

			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	77,023	74,163	16,298
正職員			従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,750	2,750	2,750	2,750
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
費用合計			千円	79,773	76,913	19,048	26,750	
対前年比		%		96.4	24.7	140.4		
財源	一般財源		千円	69,073	49,613	19,048	26,750	
	国・県支出金		千円	9,800	14,400	0	0	
	その他財源		千円	900	12,900	0	0	

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	績	区画道6-104号関連 道水路工事(単年)	m	目標	94	51	38
実績				94	51	38	
区画道6-104号関連 物件移転補償(単年)		件	目標	1	—	—	—
			実績	1	—	—	
区画道6-104号関連 道路整備率(単年)		%	目標	28.1	15.3	11.0	7.4
			実績	28.1	15.3	11.0	
成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28	
区画道6-104号関連 道水路工事(累計)	m	目標	202(+94)	253(+51)	291(+38)	316(+25)	
		実績	202(+94)	253(+51)	291(+38)		
区画道6-104号関連 道路整備率(累計)	%	目標	60.3	75.6	86.6	94.0	
		実績	60.3	75.6	86.6		

事業の自己評価	平成27年度の達成状況	平成27年度の小牧南地区の区画道6-104号については、道水路工事を38m行った。結果、道路整備計画延長335.8mに対して平成27年度末の整備済延長が290.8mとなり、道路整備率が11.0ポイント(H26:75.6%⇒H27:86.6%)上昇した。		
	事業実施における課題	土地区画整理事業地区の周辺部では、内外で道路や排水路等の公共施設の整備水準に差があり、整備を行わない場合は交通渋滞や排水不良の原因となる。そのため、土地区画整理事業の進捗状況に合わせて、周辺部において関連工事を一体的に実施し、円滑な道路交通や排水を確保する必要がある。		
	基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	平成26年度と比較して、土地区画整理事業地区の周辺部において、道路等の公共施設の整備が進み、生活環境の改善が図られている。		
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	今年度については、早期に工事着手し、年度内完了を目指す。	
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
判定理由		各地区の土地区画整理事業の進捗状況に合わせて、地区外に隣接する道路や排水路等の関連工事を適切に実施し、事業効果を高める必要がある。		
29年度以降の改善案		土地区画整理事業の事業効果を高めるために行う道路や排水路等の関連工事について、効率的な工事範囲を引続き検討していく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。